

本町の人工林資源は成熟期を迎え、保育から利用の段階に入りつつありますが、一方で森林・林業を取り巻く現在の状況としては、地域の林業に将来展望が開けてこないことなどにより、森林所有者の経営意欲の減退を招いていることから、森林整備放棄地の増加が懸念され、更には事業量の減少や林業労働者の担い手不足などあらゆる面で課題を抱えています。

こうした課題の解決を図るべく、町内の森林資源を最大限活用するとともに森林の持つ多面的な機能の高度発揮を図り、もって地域の活性化に結びつけるための町有林をはじめとした民有林全体の目指すべき理想の目標や進むべき方向についてまとめた町独自の「南富良野町森林・林業マスタープラン」を有識者や関係機関のご協力をいただき策定いたしました。

マスタープランは、民有林の振興、林業担い手への支援、水源の森整備、町有林経営、イトウを守る森林整備など7つの個別プランからなり、それぞれ目標達成のための手段

町内の消費向上等を図りながら商工業の振興に努めてまいります。

また、商工会の育成強化については、商工会の財政効率をより一層求める中で、人的支援と商工振興事業補助金による支援を継続し、町内消費向上対策についても商工会と連携を図りながら進めてまいります。

商工業者等の資金円滑化を図るため実施している、町融資及び利子・保証料補助事業並びに創業支援や経営強化を図るため、多くの商工業者の方々に活用をいただき効果を上げております商工業振興アシスト事業につきましては、引き続き商工業支援制度として実施するよう所要の予算を計上いたしました。

町内の消費向上対策につきましては、町内加盟商店での消費に対する消費者への還元を図る「ポイントカード事業」に対しまして引き続き支援してまいります。

また、商工会等が主催となる食に関するイベントが本町で開催される予定であることから、町外者の集客による町

についてまとめています。

今後は、マスタープランに掲げた目的達成のための各種施策について、議会のご意見をいただきながら取り組んでまいります。



森林・林業マスタープラン策定の様子

林業は農業とともに本町の重要な基幹産業であり、森林を整備する中で地域林業生産活動の活性化を推進するとともに、林業労働者の減少や高齢化などの担い手対策については、森林整備担い手対策推進事業に引き続き取り組み、森林環境の整備充実と森林資源の有効活用を図りながら森林産業の活性化に努めてまいります。

本年度事業は、町有林の人工林では、間伐事業を中心に林業専用道や森林作業道、下

内への経済効果と地域の活性化が見込まれますので、支援・協力をしてまいります。



なんぶにこここのカード

町内特産品の販売推進について、近年社会問題ともなっているエゾシカの農業被害防止のためのエゾシカ捕獲の推進と駆除したエゾシカ肉の有効活用、更には南富良野ブランドとしてのエゾシカ肉製品の推奨と普及、PRによる地元での認知度を高めるため、今年度も引き続き町民の皆様への還元として、関係商品の消費に対する支援を行うべく所要の経費を計上いたしました。

鉱業振興については、鉱業振興会へ引き続き支援すると

刈事業を実施するほか、森林総合研究所分収造林事業並びに特定中山間保全整備事業に引き続き取り組んでまいります。

平成18年度より、天然林については、事業収支に配慮しながら計画的な伐採を実施してまいりましたが、残る天然林については水源地上流に位置することや有価木になっていないことなどから、平成24年度からは高齢化傾向にある人工林への主伐にシフトを替え、町有林の年齢標準化や林業労働者の雇用対策として、町財源の確保に向け計画的な伐採に取り組んでまいります。

町有林に新たな森林価値を求め、循環型の適正な森林整備による二酸化炭素の吸収量をクレジットとして発行し、販売が可能となるオフセット・クレジット（J・V E R）制度への取り組みを進め、環境を視点とした地域振興として本町の環境に対する取り組みを町内外に広くPRし、オフセット・クレジットの販売による町財源の確保に向けて取り組みを進めてまいります。

とともに、輸送車両に配慮した町道の維持、整備に努めてまいります。

観光の振興

観光振興については、引き続き富良野美瑛広域観光推進協議会に参加する自治体と共同し、国内外に対して本町の観光資源のPRに取り組むとともに、東アジア圏での北海道ブームにより、今後増加が見込まれる中国を中心とした新千歳空港利用観光客を富良野美瑛圏域に誘致するため、夕張・占冠間の道道開通に伴う交通の利便性を全面的にPRし、それぞれの関係する機関と連携を図ってまいります。

また、体験観光客の増加と観光産業の育成に努めるとともに、町内各種観光施設の適正管理に配慮してまいります。

NPO法人南富良野まちづくり観光協会については、更なる会員の拡大に向けた努力に期待するとともに、平成23年度、観光庁から育成重点地域に指定された、地域の観光資源や景観、体験メニューを活用したニューリズムと

また、山林から発生する林地残材を活用した木質バイオマスエネルギーについては、地域雇用と森林経営の基盤強化が図られ、環境保全の役割を含め本町における林業・林産業の振興を図る有意義な手段であることから、引き続き公共施設への導入について検討を進めてまいります。

民有林の振興については、木材需要の低迷による森林所有者の整備意欲を低下させないためにも、負担軽減を図るための各種補助制度を活用し、除間伐促進事業や造林、保育事業の推進を支援するため、引き続き所要の予算を計



豊かな南富良野町の森林

上いたしました。

治山事業では、道営による北落合、落合、幾寅、金山各地区での下刈り事業、更には北落合地区での防風保安林の間伐及び補植並びに落合、下金山各地区での間伐が予定されています。

道有林事業では、下金山地区の東郷地区復旧治山事業が予定され、更に下金山、金山、東鹿越各地区において植付、保育伐、下刈りなどの育林事業が予定されています。

商工鉱業の振興

次に、商工鉱業の振興であります。

依然として景気の低迷が続く回復の兆しが見えない中、町内商工業を取り巻く環境は、本町の経済を支える農林業を中心とする産業全般の低迷や過疎化、少子高齢化などにより個人消費の脆弱化が強まり、依然として厳しい状況が続いており、商工業全体として一段と厳しい環境にあります。

このような状況を踏まえ、商工業の経営安定と振興のため行政予算執行の際には、効率的な予算の執行に留意し、

光振興に努めてまいります。

本町の冬の風物詩となっております「ワカサギ釣り」につきましては、ワカサギの活卵の放流を実施しながら冬季湖面の安全管理を金山ダム管理支所と協力して進め、継続してまいります。

雇用対策

町内の雇用状況につきましては、地域経済の景気の回復の遅れが雇用情勢を一段と厳しいものとしており、引き続き各分野において、国の緊急雇用創出推進事業を活用した雇用の創出に努めるとともに地域での求職者に対し、雇用情報の提供を行ってまいります。

また、季節労働者対策としては、富良野広域圏通年雇用促進協議会が実施する求人開拓、相談、情報提供などの各種事業に引き続き支援を行ってまいります。

振興公社の対応

振興公社の経営については、経営改善策と経営体制の見直しを進めてきた結果、平成21年度には債務超過の状態から



ワカサギ活卵放流の様子



エコツーリズム推進セミナー